

事前授業指導書（20分）

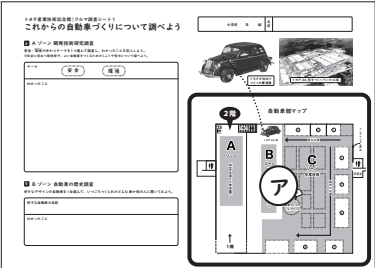
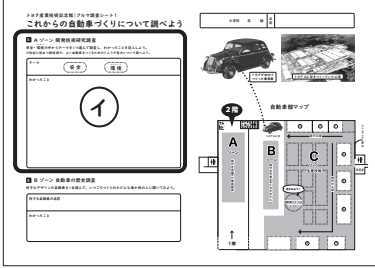
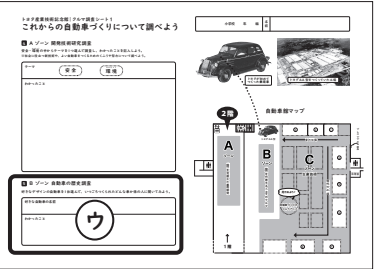
施設見学の前の導入として、見学当日に児童が調査すべき内容を明確にし、調査に必要な知識の予習を行います。

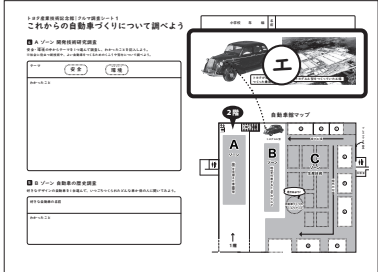
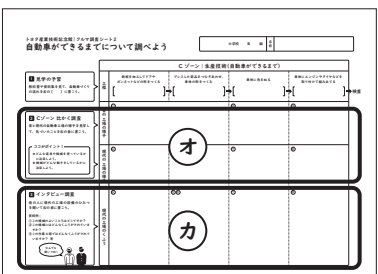
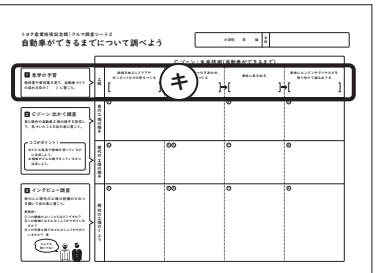
＜本時のねらい＞

- 自動車の生産に興味・関心をもつようにする。
- 社会科見学で調べるテーマと調査方法を確認し、見学に備える。
- 調査をスムーズにするために必要な事前知識（自動車生産の流れ）を理解する。

■使用教材

クルマ調査シート1、クルマ調査シート2、教科書、資料集

段階	学習内容・学習活動	指導教師の問いかけ例と留意事項
導入 4分	社会科見学の導入 トヨタ産業技術記念館施設概要 	【先生】トヨタ産業技術記念館は、トヨタが初めて自動車をつくった時から現代までの自動車技術や工場の生産技術の移り変わりが展示されている施設です。 テーマごとに大きく3つのゾーンに分けられています。「クルマ調査シート1」のマップ（図ア）を見てみましょう。皆さんには社会科見学の際に、3つのゾーンごとに調べ学習をしてもらいます。これから各ゾーンとそこでしてもらう調べ学習について説明します。
展開① 3分	Aゾーンの調査内容の確認 ○展示を見て、新しい車の技術について調べる。 	【先生】まずはAゾーンについて説明します。マップの左側を見てください。Aゾーンには環境・安全に関する展示があります。この中から一つテーマを決めて、展示の内容からわかったことを「クルマ調査シート1」（図イ）に記入してください。 ※授業時間に余裕がある場合、教科書や資料集を読んで環境・安全について事前学習するよう指示してもよい。
展開② 3分	Bゾーンの調査内容の確認 ○自動車開発の歴史を調べる。 	【先生】次はBゾーンについて説明します。マップの真ん中を見てください。Bゾーンには歴代のトヨタを代表する自動車がたくさん展示されています。展示されている自動車の中からデザインが好きなものを1台選んで、その自動車がいつごろつくられたどんな車なのかを係の人に聞いてみましょう。インタビューをしてわかった結果は「クルマ調査シート1」（図ウ）に記入してください。

段階	学習内容・学習活動	指導教師の問いかけ例と留意事項
展開③ 5分	Cゾーンの調査内容の確認 ○展示を見て昔と現代の工場の様子を調べる。 ○現代の工場のくふうを係の人にインタビューして調べる。 	【先生】「クルマ調査シート1」のクルマと工場の写真(図エ)を見てください。この車はトヨタAA型乗用車といってトヨタ自動車が一番最初につくった乗用車です。この自動車がつくられたのは何年前だと思いますか？ 【児童】＜答える＞ ※時代に区切って挙手させてもよい。 【先生】正解は今から約80年前の1936年です。みんなのおじいさんのお父さんが子どものときくらいですね。この自動車はトヨタ産業技術記念館に展示されています。最近の乗用車とどこが違うか、ぜひ実物を見てみてください。
展開④ 5分	自動車生産の流れをシートに記入 自動車開発の流れの確認。 	【先生】次は、Cゾーンの①～③番について説明します。「クルマ調査シート2」マップの右上（図エ）を見てください。ここには、トヨタAA型乗用車をつくっていたころの工場の様子が展示されています。この展示を見学して当時の工場がどうやって自動車をつくっていたかを調べて、「クルマ調査シート2」（図オ）に気づいたことを記入してください。 そして、マップのCゾーン右側と右下にある④～⑧番には現代の工場の設備が展示されています。昔の工場の様子と比較して現代ではどのように作業しているかを調べて、「クルマ調査シート2」（図オ）に記入してください。 【先生】ただし、このCゾーン④～⑧番の現代の工場設備には見ただけではわからないひみつのくふうが隠れています。周りにいる係の人に質問をして現代の工場の設備のひみつを聞き出し、「クルマ調査シート2」（図カ）にわかったことを記入しましょう。 ※係の人に必ずインタビューするように強調する。
展開④ 5分	自動車生産の流れをシートに記入 自動車開発の流れの確認。 	【先生】最後に、見学の予習として自動車ができるまでの5つの工程について確認しておきましょう。教科書や資料集をみて、自動車ができるまでの工程を調べ、「クルマ調査シート2」（図キ）に記入してください。 ※教科書を見て個別学習させても、教師の指導による一斉学習でもよい。 見学の予習（図キ） 記入内容： 〔プレス〕→〔よう接〕→〔とそう〕→〔組み立て〕